

肉を頼みとせず、

キリストのゆえに、またキリストを知る知識の卓越性のゆえに、

すべての事を損失と勘定する

聖書：ピリピ 3:3-8

**I. キリストを信じるわたしたちは、肉を頼みとすべきではありません。わたしたちの信頼は完全に主にあるべきです——ピリピ 3:3 後半：**

- A. ピリピ第3章3節と4節の肉は、わたしたちの天然の存在においてわたしたちであるすべてと、わたしたちが持っているすべてから成っています。
- B. これらの節の「肉を頼みと」することは、わたしたちが肉において持っているすべての善い項目と資格を指しています。わたしたちの天然の存在の尊い、愛すべき、すぐれた面もやはり肉です。
- C. 神の子供たちの間の最も大きな問題は、肉が何であるかを彼らが知らないことと、彼らの肉が対処されてこなかったことです——ローマ 8:8. ガラテヤ 5:24 :
  - 1. 自信は、肉の特徴です。対処されていない肉の最も明白なしるしは、自信です——参照、3:2-3。
  - 2. 肉を頼みとすることは、わたしたちをキリストから離れさせます——ピリピ 3:3-4, 10。
- D. わたしたちはキリストにある信者として、肉を頼みとしない者たち、自分の天然の能力や受け継いだものに信頼しない者たちであるべきです——3-6 節：
  - 1. わたしたちは再生されましたが、自分の墮落した性質の中に生き続け、自分が肉の中で行なう事を誇り続け、自分の天然の資格を頼みとし続けているかもしれません——ガラテヤ 3:2-3。
  - 2. わたしたちは神によって照らされたときにはじめて、自分の天然の資格や能力や知性に信頼しないと、真に言うことができます。そのときにはじめてわたしたちは、肉を頼みとせず、完全に主を頼みとすると証しすることができるようになります——ピリピ 3:3. 箴 3:5-6。
- E. もしわたしたちがキリストを経験しようとするなら、肉に信頼してはならず、ただ主にだけ信頼しなければなりません。これがキリストを経験する秘訣です——ピリピ 3:3。

**II. キリストを知る知識の卓越性は、彼のパースンの卓越性から来ます——ピリピ 3:8.**

マタイ 17:5. コロサイ 1:13 :

- A. キリストを知る知識の卓越性は、キリストに属する知識ではありませんし、キリストご自身が持っている知識でもありません。そうではなく、この知識はわたしたちが主観的にキリストを知ることです——ヨハネ 17:3 :
  - 1. ピリピ第3章8節の「知識」は、実はキリストと彼の卓越性に関する啓示、ビジョンを意味します——ガラテヤ 1:15-16. エペソ 1:17-23。
  - 2. 神がキリストをパウロに啓示した時、パウロは、キリストの超越性、無上の尊さ、ずば抜けた価値を見ました——使徒 9:3-5, 20, 22. 22:13-16. 26:13-16。

B. キリストを知る知識の卓越性は、わたしたちによって実際化されたキリストの卓越性です——ヨハネ 16:13-14. ガラテヤ 1:15-16 :

1. わたしたちはキリストの尊さと、すべてを含む無限のキリストを知る知識の卓越性についてのビジョンを持つ必要があります—— I ペテロ 2:4, 7. コロサイ 1:12, 15-19. 2:2-3, 9, 16-17. 3:4, 10。

2. キリストを知る知識の卓越性は、啓示によって来ます。キリストに関する啓示がなければ、わたしたちはキリストを知ることができません——マタイ 16:17. 11:27. ガラテヤ 1:15-16. ヨハネ 17:3。

C. もしわたしたちがキリストを経験しようとするなら、キリストを知る知識の卓越性をまず持つ必要があります——ピリピ 3:7-10 :

1. わたしたちは、キリストについての啓示を通して彼を知ることなしに、彼を経験することはできません——ガラテヤ 1:15-16. 2:20. 4:19。

2. もしわたしたちがキリストについてのさらに高い啓示を持っていなければ、キリストに対するさらに高い経験を持つことはできません—— I ヨハネ 5:20。

3. キリストに対するわたしたちの経験は、キリストを知るわたしたちの知識の卓越性を超えることはできません——エペソ 1:17-21. 3:14-19。

**III. パウロはキリストを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定しました——ピリピ 3:8 前半 :**

A. パウロはキリスト・イエスを知る知識の卓越性に、極めて大きな価値を置きました。これは、キリストに関するパウロの親密な、優しい感覚を伝達する「わたしの主」という言葉によって示されています。

B. パウロの目は開かれて、すばらしい、すべてを含むキリストの卓越性を見ました。彼は、この卓越性のゆえに、宗教的な益や天然的な益に関するものであっても、すべての事を損失であると勘定しました。

C. 8節の「すべての事」は、パウロがキリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、宗教的な事柄だけでなく、すべての事を捨てたことを示しています。ですから、パウロにとって、すべての事の損失とは、あらゆるものの損失でした。

D. わたしたちはキリストを知る知識の卓越性を持てば持つほど、ますます宗教的なあらゆるものと天然的なあらゆるものを損失と勘定するようになります—— 4-8 節前半。

**IV. パウロはキリストのゆえに、すべての事で損失を被り、それらをちりあくたと勘定しました。それは、彼がキリストを獲得するためでした——ピリピ 3:7, 8 後半 :**

A. 8節の「すべての事」は、宗教、哲学、文化に属するものを含んでいます。パウロがこれらすべての事で損失を被ったのは、それらがキリストの代替物であって、サタンによって用いられたわなであり、人々をキリストとキリストに対する経験から離れさせたからです。

B. わたしたちがキリストを獲得するのは、かつて自分にとって益であったすべての事で損失を被ることによってであり、またそれらをちりあくたと勘定することによってです—— 4, 8 節 :

1. 8節の「獲得する」というギリシャ語は、「確保すること、得ること、捕らえる

こと」を意味しています。

2. キリストを獲得することは、彼のパーソンを獲得し、キリストの計り知れない豊富すべてを経験し、享受し、所有することです——エペソ 3:8。
3. わたしたちはパウロのように、キリストのゆえにすべての事を損失と勘定するだけでなく（ピリピ 3:7）、すべての事で損失を被り、すべての事をちりあくたと勘定すべきです（8節）。
4. わたしたちはキリストのゆえに、すべての事で損失を被り、それらをちりあくたと勘定すればするほど、ますますキリストを獲得して、経験と享受とならせます——7-8節。